

病態制御医学講座／精神医学領域  
 附属病院／神経科精神科

## 1. 領域構成教職員・在職期間

教授	和田 有司	平成11年10月－
准教授	東間 正人	平成24年4月－
講師	小俣 直人	平成13年4月－平成15年3月、平成17年4月－ (平成22年4月－現)
特命教授	小坂 浩隆	平成17年4月－平成24年1月、平成24年2月－ 子どものこころの発達 研究センター所属 (平成26年12月－現)
助教	東 美江	平成22年4月－
助教	松村 由紀子	平成24年4月－
助教	田中 悠二	平成25年4月－
助教	上野 幹二	平成25年4月－平成25年7月、平成26年3月－
助教	岡崎 玲子	平成27年3月－

## 2. 研究概要

## 研究概要

精神疾患の生物学的基盤を明らかにし、その発症予防や早期介入、診断法の確立および治療のあらたな開発に寄与することを目標に研究をすすめている。研究の分野は、動物モデルを用いた基礎的研究から、各精神疾患を対象とした臨床研究までを広く網羅している。

## I. 臨床神経生理（てんかん、臨床脳波や睡眠など）および神経精神薬理

- 1) てんかんや睡眠時無呼吸・ナルコレプシーの終夜ポリソムノグラフィーによる検討
- 2) オキシトシン投与による自閉症スペクトラム障害者の社会的向上に対する影響
- 3) 細胞内情報伝達系に注目した気分障害の病態解明とリチウムの神経保護作用
- 4) サイトカイン(TNF- $\alpha$ やアディポネクチン)やHPA系など精神薬理・内分泌学的検討
11. ヒト高次脳機能および精神神経疾患の形態・機能画像
- 1) 精神神経疾患（自閉症スペクトラム障害、統合失調症など）の脳形態・脳代謝機能
- 2) 感情を表出した表情認知や共同注視に関するfMRI研究
- 3) マルチスケールエントロピーを用いた精神疾患の認知機能や脳波特性に関する研究
- 4) マルチフラクタル非線形解析法による発達・加齢やMRI深部白質病変の定量評価
- 5) 神経心理学的アプローチによる認知機能の評価
- 6) ポジトロン標識化合物とラット新鮮脳切片を用いた脳代謝イメージング  
(向精神薬の作用機序とその分子メカニズムの解明)

## 7) 生育環境や亜鉛など微量元素と情動との関係

## 8) 電気けいれん療法作用メカニズムに関する研究

## III. 老年精神医学・社会精神医学

- 1) 緩和ケアにおけるせん妄や慢性疼痛患者に対する最適な薬物療法の検討
- 2) がん患者のせん妄に関する精神薬理学的および心理社会的研究
- 3) 地域高齢者に対するメンタルヘルス健診と啓発活動
- 4) 認知症の早期介入に関する研究

## キーワード

神経生理学, 児童精神医学, 老年精神医学, 精神薬理学, 社会精神医学

## 特色等

基礎的研究としては、実験小動物の新鮮脳切片や疾患モデル動物を用いた向精神薬の作用、疾患発症の機序に関する研究などを行っている。臨床研究としては、健常者の記憶や感情など高次脳機能の画像化、統合失調症や発達障害における認知機能異常の脳機能イメージングなどを進めている。さらに、脳波やMEGのデータ解析による統合失調症や加齢の非線形法を用いた研究、地域における認知症の予防研究、睡眠の臨床生理学的検討、緩和ケアにおけるせん妄や慢性疼痛患者に対する検討も併せて行っている。

以上、日常の診療を基盤として、また各研究領域間の連携を密にすることで精神疾患の統合的アプローチを目指している。

## 本学の理念との関係

学内の高エネルギー医学研究センター、子どものこころの発達研究センター、放射線医学、検査部などとの連携の中で、機能画像と分子生物学、さらに精神薬理や神経生理学的なアプローチを駆使して、先駆的な脳とこころの研究を展開している。学外では、県内外の研究機関との共同研究をすすめている。

## 3. 研究実績

区分		編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2010～2015年分	2015年分	2010～2015年分	2015年分
和文原著論文		12	0	—	—
英文論文	ファーストオーサー	28	2	71.202 (71.202)	8.656 (8.656)
	コレスポンドイングオーサー	18	1	43.479 (43.479)	3.243 (3.243)
	その他	16	3	50.044 (50.044)	7.047 (7.047)
	合計	47	5	136.152 (136.152)	15.703 (15.703)

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

1532001

T. Miyagawa, H. Toyoda, T. Kanbayashi, I. Imanishi, Y. Sagawa, N. Kotorii, T. Kotorii, Y. Hashizume, K. Ogi, H. Hiejima, Y. Kamei, A. Hida, M. Miyamoto, A. Ikegami, Y. Wada, M. Takami, Y. Fujimura, Y. Tamura, N. Omata, Y. Masuya, H. Kondo, S. Moriya, H. Furuya, M. Kato, H. Kojima, K. Kashiwase, H. Saji, S.S. Khor, M. Yamasaki, J. Ishigooka, Y. Wada, S. Chiba, N. Yamada, M. Okawa, K. Kuroda, K. Kume, K. Hirata, N. Uchimura, T. Shimizu, Y. Inoue, Y. Honda, K. Mishi, H. Honda, K. Tokunaga. : An association analysis of HLA-DQB1 with narcolepsy without cataplexy and idiopathic hypersomnia with/without long sleep time in a Japanese population. , Humam Genome Variation, 2, 15031, 201509

1532002

Y. Masuya, Y. Okamoto, K. Inohara, Y. Matsumura, T. Fujioka, Y. Wada, H. Kosaka: Sex-different abnormalities in the right second to fourth digit ratio in Japanese individuals with autism spectrum disorders, MOLECULAR AUTISM, 6, 34, 201506, DOI: 10.1186/s13229-015-0028-x, #5.413

1532003

D. Takeuchi, T. Ono, Y. Wada: Case of neuroleptic malignant syndrome with diffuse neurofibrillary tangles with calcification, PSYCHIATRY AND CLINICAL NEUROSCIENCES, 69(6), 383-384, 201506, DOI: 10.1111/pcn.12246 (症例報告), #1.634

1532004

T. Takahashi, Y. Masuya, K. Ueno, K. Watanabe, M. Takahashi, M. Morita, M. Higashima, Y. Wada: Clozapine-Related Negative Myoclonus Associated With Urinary Tract Infection A Case Report, JOURNAL OF CLINICAL PSYCHOPHARMACOLOGY, 35(2), 205-206, 201504, DOI: 10.1097/JCP.0000000000000290 (症例報告), #3.243

1532005

T. Fujioka, K. Inohara, Y. Okamoto, Y. Masuya, M. Ishitobi, DN, Saito, M. Jung, S. Arai, Y. Matsumura, TX. Fujisawa, K. Narita, K. Suzuki, KJ. Tsuchiya, N. Mori, T. Katayama, M. Sato, T. Munesue, H. Okazawa, A. Tomoda, Y. Wada, H. Kosaka: Gazefinder as a clinical supplementary tool for discriminating between autism spectrum disorder and typical development in male adolescents and adults. , Molecular autism, 7(19), , 201603, DOI: 10.1186/s13229-016-0083-y, #5.413

## 業績一覧

- b. 原著論文（審査無）
  - c. 原著論文（総説）
  - d. その他研究等実績（報告書を含む）
  - e. 国際会議論文
- (3) 和文：著書等
- a. 著書
  - b. 著書（分担執筆）
  - c. 編集・編集・監修
- (4) 和文：論文等
- a. 原著論文（審査有）
  - b. 原著論文（審査無）
  - c. 総説
  - d. その他研究等実績（報告書を含む）
  - e. 国際会議論文
- (B) 学会発表等
- (1) 国際学会
- a. 招待・特別講演等
  - b. シンポジスト・パネリスト等
- 1532006** T. Takahashi: Increasing Signal Variability During Development and Its Relevance to Autism Spectrum Disorders, WPAIC 2015, , 台北 (台湾), 201511, , ,
- 1532007** K. Ueno: Neurophysiological Basis of Creativity in Healthy Elderly People Using Nonlinear Approach, WPAIC 2015, , 台北 (台湾), 201511, , ,
- 1532008** R. Okazaki: Assessment of Neurophysiological Changes with Electroconvulsive Therapy in Mental Disorders Using Nonlinear, WPAIC 2015, , 台北 (台湾), 201511, , ,
- c. 一般講演（口演）
  - d. 一般講演（ポスター）
- 1532009** M. Jung, DN. Saito, A. Tomoda, H. Okazawa, Y. Wada, H. Kosaka: Male brain is more affected by autism spectrum traits than female., The Organization for Human Brain Mapping (OHBM) 2015 Annual Meeting, , , 201506, , ,
- e. 一般講演
  - f. その他
- (2) 国内学会（全国レベル）
- a. 招待・特別講演等
  - b. シンポジスト・パネリスト等
- 1532010** 和田 有司: 病院長から見た総合病院精神科—期待と課題—, 第28回日本総合病院精神医学総会, , 徳島市, 2015.11, , ,
- c. 一般講演（口演）
- 1532011** 清野 泰、小俣直人、三屋博宣、水野智之、岡沢秀彦: 気分障害モデルラットにおけるノルエピネフリン・トランスポータイメーキングブロープの集積変化, 第55回日本核医学会学術総会, , 東京, 201511, , ,
- 1532012** 岡本悠子、升谷泰裕、松村由紀子、藤岡徹、小坂浩隆: 胎児期の性ホルモン暴露と女性自閉症スペクトラム障害の関係, 第56回日本児童青年精神医学会総会, , 横浜市, 201510, , ,
- 1532013** 上野幹二、高橋哲也、松村由紀子、佐野友香、松本日和、東間正人、和田有司: アルコール過剰摂取および向精神薬大量内服後に生じた遅発性低酸素白質脳症の1例, 第111回日本精神神経学会学術総会, , 大阪市, 20150604, , ,
- d. 一般講演（ポスター）
- 1532014** 松村由紀子、藤岡 徹、藤澤隆史、岡本悠子、新井清義、田仲志保、升谷泰裕、石飛 信、岡崎玲子、石川俊介、丁 ミンヨン、小泉径子、友田明美、小坂浩隆: 自閉スペクトラム症における唾液中/血漿中オキシトシン濃度と社会性の障害との関連—視線追跡装置であるGazeFinder®を用いて—, 第56回日本児童青年精神医学会総会, , 横浜市, 201510, , ,
- 1532015** 小林美貴、村上 剛、児玉麻衣子、松村由紀子、廣野靖夫、渡邊亨平、浦井真友美、桑原希恵、笹川良明、五十嵐真由美、片山寛次: 当院緩和ケアチームの現状, 第20回日本緩和医療学会学術集会, , 横浜, 201506, 抄録集, 429,
- 1532016** 田中悠二、東間正人、上野幹二、高橋哲也、大森晶夫、川口めぐみ、高森巳早都、水上喜美子、和田有司: 地域健常高齢者における軽微な認知機能低下—ファイブ・コグとCANTABを用いた神経心理学的研究—, 第111回日本精神神経学会学術総会, , 大阪市, 20150604, , ,
- 1532017** 後藤崇志、藤川明希、村田哲人、加藤美世子、東間正人、和田有司: アリビプラゾールにより著明なパーキンソンニズム及びせん妄を来たし、初期DLBが疑われた双極性障害の1例, 第25回日本臨床精神神経薬理学会, , 東京, 20151029, , ,
- e. 一般講演
  - f. その他
- 1532018** 東間正人: 精神科医に必要な脳波の知識, 第111回日本精神神経学会学術総会, , 大阪市, 2015.06, , ,

## (3) 国内学会（地方レベル）

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

1532019

松本日和、田中悠二、松村由紀子、東間正人、和田有司：うつ病エピソード経過中に非けいれん性発作重積状態を呈した一例。第188回北陸精神神経学会、永平寺町、20150726、...

1532020

松本日和、田中悠二、松村由紀子、東間正人、和田有司：うつ病の経過中に昏迷様状態を呈し、てんかん重積と診断された一例。第76回日本心身医学会中部地方会、内灘町、2015.10、...

1532021

武藤悠平、岡崎玲子、田中悠二、東間正人、和田有司：心因性非てんかん発作（PNES）との鑑別を要した前頭葉てんかんの一例。第188回北陸精神神経学会、永平寺町、20150726、...

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (4) その他の研究会・集会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演（口演）

1532022

井川正道、岡沢秀彦、辻川哲也、清野智恵子、前田浩幸、川谷正男、畑 郁江、木村浩彦、和田有司、米田 誠：分子イメージングによるMELAS脳卒中様発作の病態解明。第36回北陸臨床遺伝研究会、金沢、20160221、プログラム・抄録集、10、

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## (A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)（一般）	亜鉛欠乏および社会的隔離による情動変化に関する基礎的研究	小俣 直人	清野 泰	2015	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	治療抵抗性うつ病の病態解明・治療法開発に資する分子イメージングプローブの開発	清野 泰	小俣 直人	2015	200000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	ADHD児と自閉症児の前頭葉機能特性および薬物と療育効果による変化	松村 由紀子		2015	1690000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)（一般）	創造性が高齢者の脳機能に及ぼす影響—脳波の非線形解析を用いた統合的研究	上野 幹二	高橋 哲也, 水上 喜美子	2015	650000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)（一般）	自閉症障害の神経ネットワーク異常に関する研究：非線形解析による脳形態生生理学的検討	高橋 哲也	岡崎 玲子	2015	130000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)（一般）	神経ネットワークに着目した電気けいれん療法的作用機序の解明—脳波の非線形解析—	岡崎 玲子	上野 幹二, 高橋 哲也	2015	650000

## (B) 奨学寄附金

受入件数	21
受入金額	10360000

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会（地方レベル）	主催者	第188回北陸精神神経学会	20150726	福井県永平寺町

## (B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本てんかん学会	評議員（評議員）	和田 有司
日本生物学的精神医学学会	評議員（評議員）	和田 有司
日本臨床精神薬理学会	評議員（評議員）	和田 有司
日本老年精神医学会	評議員（評議員）	和田 有司

## (C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

## (D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

## (E) その他